

## 土木学会論文集 令和 2 年 7 月豪雨災害特別企画 投稿募集

令和 2 年 7 月は、前線が停滞したことにより高温多湿の空気が継続して日本付近に供給され、各地で豪雨による被害を引き起こしました。九州地方では 4 日から 7 日にかけて記録的な大雨となり、球磨川や筑後川では記録的な洪水が発生しました。特に、球磨川では直轄区間において 2 箇所 で決壊、11 箇所 で氾濫が発生し、全国直轄区間の浸水面積 8 割となる約 1,060ha が浸水域となる など広域にわたって甚大な被害を受けました。その後も西日本から東北地方の広い範囲で大気が不安定となり、中国地方では 13 日から 14 日、東北地方では 27 日から 28 日にかけて大雨となり、江の川、最上川など大河川においても氾濫が相次ぎました。この期間、観測史上 1 位を記録した雨量地点数は 1, 3 時間雨量でそれぞれ 15, 17 地点、24, 48 時間雨量でそれぞれ 30, 40 地点と広い範囲、多くの箇所で強い降雨が数日間続いたことに特徴がありました。

本災害にあたっては、災害直後に水工学委員会にて令和 2 年 7 月九州豪雨災害調査団が結成され調査が進められた後、土木学会において 8 月に「2020 年梅雨前線がもたらした中国・日本の大水害シンポジウム」が開催され、9 月には甚大な被害を受けた球磨川、筑後川、玖珠川に土木学会会長による視察が行われるなど、土木学会全体に影響する大きな災害でした。近年では、平成 27 年 9 月関東・東北豪雨、平成 28 年 8 月北海道豪雨災害、平成 29 年 7 月九州北部豪雨、平成 30 年 7 月豪雨、令和元年 8 月九州北部豪雨、そして令和元年東日本台風による豪雨など毎年のように記録的な豪雨災害が発生しています。異常気象による豪雨の定常化、極端現象の頻発化と言われる中、降雨強度だけでなく降雨のスケールが時空間的に大きくなっており、広域災害、土砂・洪水氾濫などの複合災害、ライフラインや道路・鉄道などの交通インフラの寸断による被害の拡大などの問題が明らかとなってきました。さらに、令和 2 年度は新型コロナウイルスによる感染症対策のため、人々の活動が制限される中での災害となりました。土木技術者として安心、安全な新しい社会をどのように構築するかを考えることが喫緊の課題と言えます。災害調査データを取り纏め、情報発信することは土木学会の使命のひとつであり、学術分野への貢献のためには、論文集を介して情報を共有・発信することが必要です。そこで、土木学会論文集、Journal of JSCE の活性化の取り組みの一環として、令和 2 年 7 月豪雨災害に関して、豪雨、洪水・氾濫、土砂災害や、交通、構造物などのインフラ被害、さらに感染症対策の中での減災・復興対策などについての報告、速報論文を取り纏めた特別企画を実施することといたしました。本特別企画件に関するスケジュール、投稿方向は以下の通りです。皆様から積極的な投稿をお待ちしております。

### □ スケジュール案

日程	土木学会論文集（和文）	Journal of JSCE（英文）
2020 年 12 月 18 日（金）～	投稿開始	
～2021 年 3 月 26 日（金）	投稿締切	
2021 年 2 月～6 月	査読期間（随時スタート）	

2021年8月末	登載決定可否	
2021年12月20日	J-stage 掲載	英文翻訳依頼（随時）
2022年1月～6月		査読，校閲期間
2022年8月末		登載決定可否
2022年12月20日		J-stage 掲載

#### □ 投稿要領

・本企画への投稿は，土木学会論文集投稿システム（<https://jjsce.jp/>）からログイン後，新規投稿にお進みいただき，論文，報告，ノートのいずれかの投稿区分を選んでください。扱いは，特別企画論文，特別企画報告，特別企画ノートとなります。

・投稿分冊には，**s3分冊（令和2年7月豪雨災害特別企画）**を選んでください。なお，この分冊は本特別企画の投稿用分冊であり，掲載論文の公表段階では，読者の便を考え，豪雨災害との関連性が最も強い既設の B1 分冊の特別企画として，一括して掲載されます。また，本災害データの国外への情報発信のため，登載が決定した論文は英文翻訳論文を JJSCE へ投稿いただくよう推薦される予定です。

・査読希望分冊は，論文キーワードから希望する分冊をお選びください。

・投稿要領，論文書式，査読方法等は土木学会論文集各分冊に準拠します。詳しくは，土木学会論文集投稿要領のページ（[http://committees.jsce.or.jp/jjsce/j\\_post](http://committees.jsce.or.jp/jjsce/j_post)）を参照ください。

#### □ 連絡先

公益社団法人 土木学会 研究事業課（論文集係）

[edi@jsce.or.jp](mailto:edi@jsce.or.jp)